

壬辰二月九日

成信敬白」とある。

供養碑は自然石を使用し、首部に三本の横線が入っている。高さは六〇センチ、幅三五センチ、厚さ一七センチの大きさである。

所 在 地 関柴町 高橋 忠氏宅

指定年月日 昭和五十九年七月十二日

\*関柴町布流遠藤家の供養碑

関柴町布流の遠藤家にある供養碑は二基あり、一基は自然石を使用し、首部に一本の横線が入っている。高さは七五センチあり、幅は三一センチ。厚さ一七センチあり、主尊種子は「バン」、銘文は不明である。

もう一基は自然石を使用し、高さ一一五センチ、幅八四センチ、厚さは一八センチあり阿弥陀三尊がえがかれている。

銘文に、「諸行無常是生滅法

生滅々寂滅為樂

延文六年辛丑二月九日

孝子敬白

成信禪門為三十年」とある。

延文六年は一三六一年である。

所 在 地 関柴町 遠藤敏彦氏宅

指定年月日 昭和五十九年七月十二日

種子=諸仏を象徴する梵字(ぼんじ)。

## 木造阿弥陀如来坐像

中田付龍泉寺の阿弥陀如来像は、高さ四一センチ、上品上生、結跏趺坐の坐像で、底部に、

「応安二年五月十二日造立願主龍繁云々」の墨書銘がある。

応安二年は一三六九年である。

頭部の螺髮は大きい割に低く平らであり、衲衣の彫りの高さや動きにはやわらかさや上品で美しい感じが少ない。面相は面長で耳が垂れているところなど、鎌倉様式を多分にもつていてが、室町時代の作と考えられる。

所 在 地 岩月町宮津字中田付

指定年月日 昭和四十九年二月十四日

龍泉寺

